

| | | | | | | | |
|--|---------------------------|------|--------------------------|---|-----|-------|------|
| 担当教員授業題目 | 生物科学野外実習Ⅱ (静岡大学) | | | | | 担当教員 | 徳岡 徹 |
| 英文授業名 | Exercise in Field Biology | | | | | 副担当教員 | |
| 単位数 | 1 | 講義期間 | 後期 | 曜日・時限 | 時間外 | 対象学年 | 3 |
| 授業形態 | 実習 | 備考 | 計5日(理学部天城フィールドセミナーハウス4泊) | | | | |
| <p>(1) 授業のねらい</p> <p>野外での様々な植物種や植物群落の特徴を理解する。 (キーワード: 富士山、伊豆半島、照葉樹林、亜高山帯、高山植物、ブナ林、海岸植物)</p> <p>(2) 授業の概要</p> <p>静岡大学周辺には海岸から高山まで様々な環境が存在し、それに応じて様々な植物種や植物群落が存在している。この実習では、できるだけ多くの植物に触れ、その多様な形態や生態を観察し、植物と環境の関係をより深く理解することを目的としている。フィールドは主として富士山と伊豆半島天城山を対象とする。実習施設として理学部附属の天城湯ヶ島フィールドセミナーハウスを利用し、採取・標本の作成を行う。</p> <p>(3) 授業計画</p> <p>7月中旬にガイダンスを行い、野外での実習は9月中旬に行う。野外では以下の場所で植生や植物相の観察、植物採集、標本の作製を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 富士山の山地林(スギ・ヒノキ林、照葉樹林) 2. 富士山の夏緑林(ブナ林、カエデ林) | | | | <p>(授業計画の続き)</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. 富士山の亜高山帯林(シラビソ林、コメツガ林) 4. 富士山の高山植物群落 5. 天城山の照葉樹林 6. 天城山のブナ林 7. 伊豆半島の温暖帯林 8. 中伊豆地域の帰化植物 9. 伊豆半島の海岸植生(ビャクシン林) 10. 沼津の千本松原 <p>(4) 成績評価の方法</p> <p>実習終了後のレポートで評価する。</p> <p>(5) 履修上の注意</p> <p>植物系統分類学、生態学などの授業を受けていることが望ましい。</p> <p>(6) 質問、相談への対応</p> <p>事前・事後の質問・相談は電子メールで受け付ける。 アドレス; tokuoka.toru@shizuoka.ac.jp (徳岡)</p> | | | |
| 【教科書】テキストは実習初日に配布します | | | | | | | |
| 【参考書】大橋広好編, 日本の野生植物, 平凡社, 2021, 9784582535389 などの植物図鑑類 | | | | | | | |